

令和5年度第2回川口市文化芸術審議会 会議録

日 時 令和5年12月1日（金）15時～17時

場 所 川口総合文化センター 2階会議室

出席者（委員） 原田会長

寺久保委員 山下委員 川田委員 小林委員 川上委員 鈴木委員

宇田川委員 青木委員 伊藤委員 望月委員 齋藤委員

（事務局） 石坂市民生活部長 藤田文化推進室長 菅井室長補佐

茂木主任 尾崎主任

（受託事業者）5名

	発言者
<p>【1 開会】</p> <p>【2 会長挨拶】</p> <p>【3. 報告（1）文化芸術拠点活用方法検討作業について】</p> <p>事務局より、活用方法検討作業 中間報告説明（資料1）</p> <p><質疑応答></p> <p>私は検討作業に参加させてもらったが、美術館の具体的なサイズ、どのような立地であり、間口等のイメージがあるが、検討作業に参加されていない皆様には具体的に説明していただいたほうが良いのではないかと。</p> <p><事務局説明></p> <p>建物は駐車場の上に2層の建物を建てる予定。面積の詳細は不明だが、4300㎡の計画となっている。</p> <p>橋を渡ったところにガラス張りの大きな入り口があり、美術館の先まで見えるイメージ。入ったところはアトリウム。建物は四角い建物。施設の中身は、アトリウム、2階には展示室が2つ、カフェが入る予定。他はお手洗い等の必要な設備。入り口は2階である。1階は展示ホール、事務室、収蔵庫のイメージである。</p> <p>中間報告について、「川口らしさの発信」や「日本文化の魅力が実感できる」とあるが、具体的なイメージはあるのか？</p> <p>また、「次の時代に活躍する人材育成」の中に、「文化芸術を支える人材（キュレーターなど）」とあるが、次の3項目に「川口ゆかりの作家の紹介をしつつ」とあるので、キュレーターだけではなく、「芸術家」「作家」等を加えたほうが良いのではないかと。</p> <p>また、「行政の枠を超えた美術館運営の必要性」について、もう少し具体的</p>	<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>

<p>に知りたい。</p> <p>本日、美術館が2階建てであると初めて知ったが、例えば、搬入の経路、階段の大きさ、エレベーターの台数、照明数等、気になる部分が多くあるが、そのあたりはいつまでに意見をまとめるのか。またこちら側で意見を言えるのか。</p>	
<p><事務局より説明・回答></p> <p>川口らしさについては、誰もが「鋳物」と「植木」をイメージする。美術館内にも鋳物は取り入れたいと考えている。植木については、美術館の周辺には植木を植栽して、緑で囲まれた建物にすべきと考えている。地場産業である鋳物・植木に触れていきたい。</p> <p>キュレーターの育成について、検討作業で出ていたのは「市民に企画してもらおう」という事例としてあげられていた。まだ固まったわけではないが、市民や芸術家、作家に入ってもらおうということもあり、育成することが必要ということで記載させていただいた。</p> <p>行政の枠を超えての運営については、資料を見ていただくとわかるが、現時点では自由な発想をいただいている。行政だけではなく、民間の協力を得ないと運営できないと考えており、「行政の枠を超えて」と記載している。</p> <p>現在実施設計を行っているが、別部署が担当している。こちらでいただいたご意見を反映させることはなかなか難しい。展示室の広さなどといったことまでには踏み込めない。</p> <p>照明については、把握できていないが、いただいたご意見を担当部署に伝えることはできるが、どこまで反映できるかは不明。</p>	事務局
<p>設計をしていただいている方はプロが担当しているとは思いますが、我々が美術館を利用するにあたり、良い点や改善点についての意見を言える場があってもよい。使い勝手の良さなど、ある程度の経験があるのでお伝えしていきたい。</p>	委員
<p>これだけの人が集まったの審議会であるので、専門家の様々な意見をまとめて、事務局と相談しながら審議会としての意見をあげていきたい。</p> <p>キュレーターなどの育成については、フリートークの際に出たご意見であるが、興味のある市民の中で、美術館のプロデュースも市民の方にやっていただき、そこでキュレーターとして育てていってはどうか。ほかの美術館ではこういった事例がない。積極的なプログラムであると考えている。</p>	会長
<p>博物館法が改正される中でよいまとめ方だと思う。特に3番の【これまでの文化芸術施設の固定概念にとらわれない柔軟な発想と地域への拡がりをもった活用施策】というのは、この方向で是非やっていただきたいし、川口市</p>	委員

<p>全体でバックアップをお願いしたい。要望としては、美術館が市民・地域の人たちと一緒にやっていくべきだとはその通りだと思うが、美術館としての魅力、ブランドもアップさせるべき。そうすれば多くの人、川口にまたその周辺にこられる。そのためには、年1回程度は大きな特別展を開催してほしい。川口は東京に隣接しているので、東京の人を川口に呼び込むことが必要。大きな博物館では展覧会で100万人規模の人が来館する。そこまでの規模ではないにしても、大きな展覧会を開催して、川口には素晴らしい美術館があるのだと認識してくれる。「川口市民や地域の団体と協力して実施し、市民キュレーターも育てる」ということも重要ではあるが、核として美術館の魅力アップのために、特別展の開催等も実施してほしい。</p>	
<p>本日提示した資料は骨格なので、そういった具体的なことは今後この資料に肉付けして行ってほしい。</p> <p>全体での意見交換はなかなか難しいので、検討作業で様々な意見をだしていただき、受託事業者にまとめてもらったが、これでよろしいか。</p> <p>(同意)</p>	<p>会長</p>
<p>【4 議事】</p> <p>(1) 美術館の運営形態について</p> <p>事務局より、美術館の運営形態について説明(資料2)</p>	<p>事務局</p>
<p>リリアは、長年、公益財団法人川口総合文化センターが指定管理しており、貸館のような存在になっている。その中に人材がいなくて感じていた。例えば、江戸東京博物館の上に大きな財団があるように、川口でもそういった仕組みで、大きな財団が指定管理施設を束ねるといった体制はとれないのか？</p> <p>→公益財団法人が運営するのが良いか、民間の運営か、直営が良いのかということ、一長一短があると思う。大きな財団が総括して運営するイメージか？</p>	<p>委員</p> <p>事務局</p>
<p>→東京都歴史財団のようにできないか。30年程経過したリリアを見てみると、専門の職員がいなくなり、貸館のようになっていて、長く指定管理をしたからといって良いというわけではないと感じている。以前は国際交流のイベントも実施していたが、予算の都合もあるが、今は実施していない。</p>	<p>委員</p>
<p>江戸東京博物館は東京歴史文化財団が指定管理者として特命を受けている。当初はJVという形で民間も2社くらい入っていたが、現在は財団のみとなっている。良い点は、様々な文化施設を一体化した財団が担当しているので、財団の規模も大きくなり、その財団の中で職員の異動もできるので、人事任用制度もうまく機能している。悪い点は、一つの館の利益が薄いと、利益が多いところからまわす、といったこともある。</p>	<p>委員</p>

<p>私自身は、練馬区にも在籍していたが、練馬区の指定管理者制度は少し変わっている。練馬区がつくった財団が文化会館や様々な文化施設を運営している。財団のトップは東京都の方や民間出身の方もいるが、うまくいかないとトップが交代する</p> <p>→うまくいかないということはどういうことか。</p> <p>→規模が大きくなりすぎると、江戸東京博物館の例でいうと、人文系の学芸員がいるが、人事任用制度で館を超えて美術館への異動がある。専門外を担当することになる。川口で財団をつくるとなるとフレキシブルに動けるほうが良い。「指定管理」が決まった際には、民間を入れたオープンな公募についてはいかがかなと思う。金額が安いことで判断される可能性がある。そうすると人材も非常勤が多くなったりするデメリットがある。指定管理者制度はよいが、あまりオープンにやりすぎないほうが良いのではないか。</p>	<p>委員 委員</p>
<p>リリアの例でいうと、財団のトップは市長であるが、館長はあまり芸術に詳しくない市からの出向であった。そういった部分は今後変わっていくのか？</p> <p>→先ほど、指定管理制度だと役所が口をはさめないのではというお話があったが、外部評価委員を入れて、中間評価を実施し、専門性が確保されているのか、市の直営よりも経費が節減され、またその中でより良いものができているのか、そういったことをチェックする機能がある。また、今多くのご意見をいただいたが、指定管理になっても、市のほうにご意見をいただきたい。指定管理になった場合でも、任せっきりで決してない。</p>	<p>委員 事務局</p>
<p>検討作業のほうで大きな方向性として、指定管理が良いとしたが、資料1の項目について運営できるかどうか。運営できる指定管理者を選定する。この方向性が了承されれば、これ自体がマニュアルになる。年度内にて審議会として意見がまとめられるが、この資料自体が、指定管理者を選定するうえでのマニュアルとなり、また各項目について実施できているかどうか評価がされる。</p>	<p>会長</p>
<p>資料は理想的であると思うが、外国人対応が多く記載されている。外国人の子どもたちの居場所づくり等記載されているが、現状では日本人の学童でさえ空きがない状況なのに、外国人ばかりにフォーカスされてしまうのはどうかと感じる。</p>	<p>委員</p>
<p>この資料をみて、応募してくる団体を選定する。具体的にどう運用するのか、外国人の子供たち向けのプログラムは指定管理者にお願いする。</p>	<p>会長</p>
<p>博物館法が改正され、地域の課題を博物館も一緒に取り組んでいくとなったが、現実には、博物館や財団の職員だけでは不可能であると感じている。運営</p>	<p>委員</p>

<p>者が主体となって、多くの方々・NPO や企業等の団体と手を組んでやっていくしかない。現在の川口市の問題点を解決するには、市や財団だけでは不可能である。いかに他の人たちを巻き込めるか、それが実現できる指定管理者を選ぶべきである。</p>	
<p>指定管理者は全国的な問題であり、指定管理者の成功例と失敗例がある。成功しているところは、市民を味方している。味方にするためには、こういった委員会がそのまま市の職員とジョイントしながら常に監視体制をとることが良いと思う。資料にあげている活用方法をまとめて、美術館などをつくった事例はあまりなかったのではないか。</p>	委員
<p>→資料はよくまとまっていると思うし、特に「地域と一緒にやる」ということがうたわれているので、これで仕様書になり得ると思う。</p>	委員
<p>→だからこそ、この項目を守っていけるように、市の職員と市民の皆さんと一緒に見守る、意見を言う、協力することが重要。そのためには多くの人に参加する。極端なことを言うと、どこであつても美術館・文化施設を作るときは反対意見が多い。それを変えていく主体は市民である。</p>	委員
<p>後ほど、私自身が実践した NPO を作って子育てサポートしたお話をさせていただき予定だが、正直申し上げて、美術館が完成して外国人の子供が参加するかはわからない。そのノウハウを持っている団体にお願いしていく。</p>	会長
<p>国の施設にいたときは「国民のために」、県の施設にいたときは「県民のために」と思っていた。一番重要なことは地域の人たちと一緒にやることだと思う。市民と一緒に皆でよいものを作りあげる姿勢が大切。</p>	委員
<p>検討作業では外国人の子供、外国人が多いという発言はしたが、絵画教室をしていて子供との接点が多い。川口の都市部では小学生の2～3人に1人が日本人ではない。日本のルーツではないかもしれないが、日本語しか話せない子もいる。そういった子たちが、川口が地元だと思ってくれる。日本の文化と結びつける場がリアや美術館がうまく機能してくれるとよい。</p>	委員
<p>学校教育の業界にいるが、ここ数年、これからの教育に必要なものは STEAM 教育であるといわれている。以前は、Science (科学) + Technology (技術) + Engineering (工学) + Mathematics (数学) の STEM であったが、そこに Arts (芸術・教養) が入ってきた。生活言語は問題ない子どもが、学習言語についていけなくて落ちこぼれてしまうこともある。そこに A の力を使ってはどうか。表現力である、音楽でもよいと思う。川口でもそういった居場所づくりができれば素敵だと思う。</p>	委員

<p>指定管理者について、先日、運転免許の高齢者検査を受けたが、試験場の入り口から数名のスタッフが案内してくれる。おそらく警視庁の職員ではなく、指定管理者だと思うが、スムーズに案内してくれる。一つの例ではあるが、川口でも市単独ではなく、いろいろなノウハウを持っている団体が実施していくのがフレキシビに運営ができるのではないかと感じている。</p> <p>資料については、発注の時のマニュアル、評価の際にも評価項目として使えると思う。</p>	<p>会長</p>
<p>指定管理案はいいと思うが、指定管理といっても様々な形態がある。どのパターンでいくのか委員会も含めて議論したほうが良い。</p>	<p>委員</p>
<p>(2) 川口市文化芸術基本計画の改定について 事務局より、川口市文化芸術基本計画（第2期）案について説明（資料3）</p>	<p>事務局</p>
<p>委員の方は初見であるので、本日質疑ができなかった点について、質疑書にて提出をお願いしたい。</p>	<p>事務局</p>
<p>今、初めて説明を聞いてこの場でご意見をいただき、まとめるのは難しいと思う。次の審議会で結論出すようにしたいと思う。</p>	<p>会長</p>
<p>→次の審議会には、質問書にいただいたご意見をまとめてご提示する。</p>	<p>事務局</p>
<p>文化芸術基本法が制定されたが、法律が「絵に描いた餅」になるのが怖い。国立劇場にいた際は、国立劇場法を叩き込まれたが、なかなか現実は厳しい。どんな立派な法律であっても、皆が自分の目線・身近なところから取り組んでいくことが大切。芸術文化基本条例は漠然としているが、ここに載っている良いことを実現させていかなければならない。</p>	<p>委員</p>
<p>【5. その他】 会長の「子育てサポートセンターを設立した際の資料」配布。 保育は保護者が仕事をしている時間が対象であったが、冠婚葬祭や、美術館に行ってみたい等の仕事以外の日常のことで保育を利用できる、法律にない仕組み、24時間365日いつでもお子さんを預かる組織を作った。 検討作業では、川口でも、子育てでちょっとストレスを感じているような方が美術館に行って癒したい、SDGsにつながるような美術館にしていきたい。従来の絵を飾るだけの美術館ではなく、トータルで役立つ美術館にしていきたいという議論が出た。川口のこの美術館でも弾力的に動けるように、参考事例としてご覧いただきたい。</p>	<p>会長</p>
<p>【閉会】</p>	

